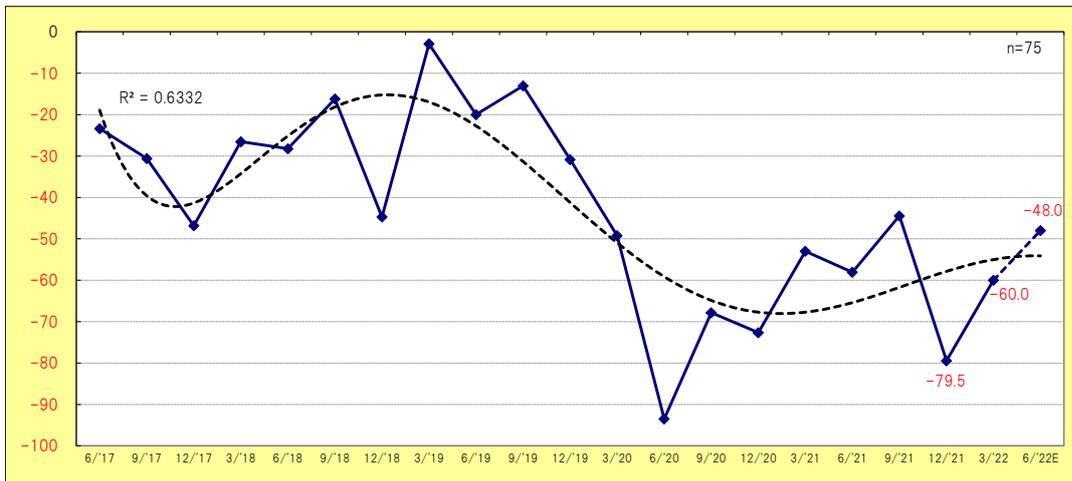


第 88 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

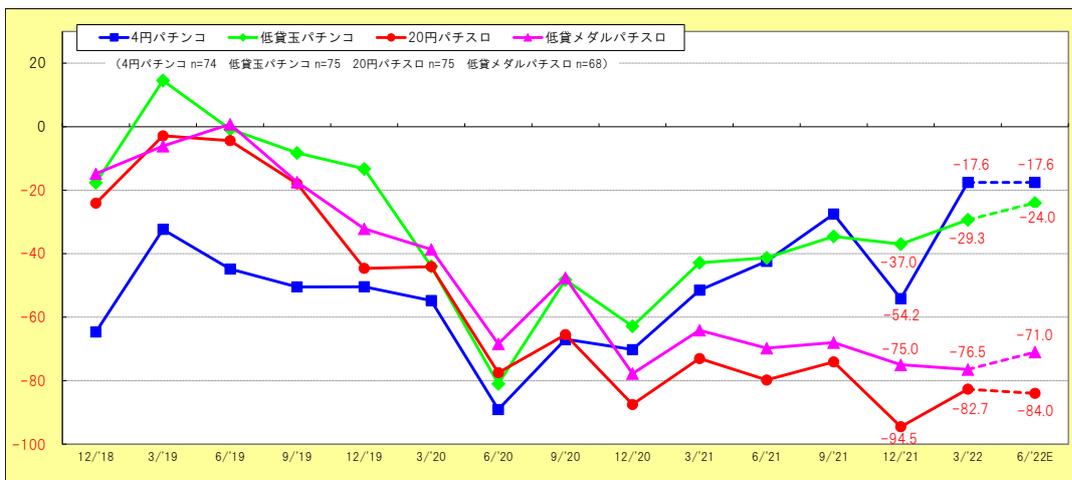
2022 年 4 月

要点

■ 全般的業況の推移: 業況は大幅に回復、3 カ月後も回復するが厳しい見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 料金に関係なく、パチンコは回復、パチスロは低迷



■ 事業規模: 遊技事業は悪化、遊技以外の事業は回復



◇ 回答状況

55 企業、75 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI 値)結果

■全般的業況は大幅に回復、遊技機投資は大幅に悪化

「全般的業況」は▲60.0 ポイント(前回比 19.5 良化)へ大幅に回復した。3 カ月後は▲48.0 ポイントまで回復するが、厳しい見通しに変化はない。

「稼動状況」はパチンコが▲17.3 ポイント(前回比 41.6 良化)、パチスロが▲82.7 ポイント(前回比 5.0 良化)まで回復した。3 カ月後はパチンコ▲12.0 ポイント、パチスロ▲82.7 ポイントとパチスロは特に見通しが厳しい。

「資本投資気運(遊技機)」は▲45.5 ポイント(前回比 77.6 悪化)と大幅に低下、3 カ月後は▲56.4 ポイントまで落ち込む見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は▲23.6 ポイント(前回比 2.8 悪化)、3 カ月後は▲20.0 ポイントとやや回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲33.3 ポイント(前回比 14.1 悪化)まで低下、3 カ月後は▲46.7 ポイントとやや落ち込む見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段 : DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	-79.5	-60.0	-48.0	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
2. 稼動状況 (パチンコ)	-58.9	-17.3	-12.0	現状は雨に良化 見通しも引き続き雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	-87.7	-82.7	-82.7	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
4. 資本投資気運 (遊技機)	32.1	-45.5	-56.4	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
5. 資本投資気運 (その他設備)	-20.8	-23.6	-20.0	現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
6. 不足感 (営業用設備)	-12.3	-17.3	-21.3	現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	-19.2	-33.3	-46.7	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨

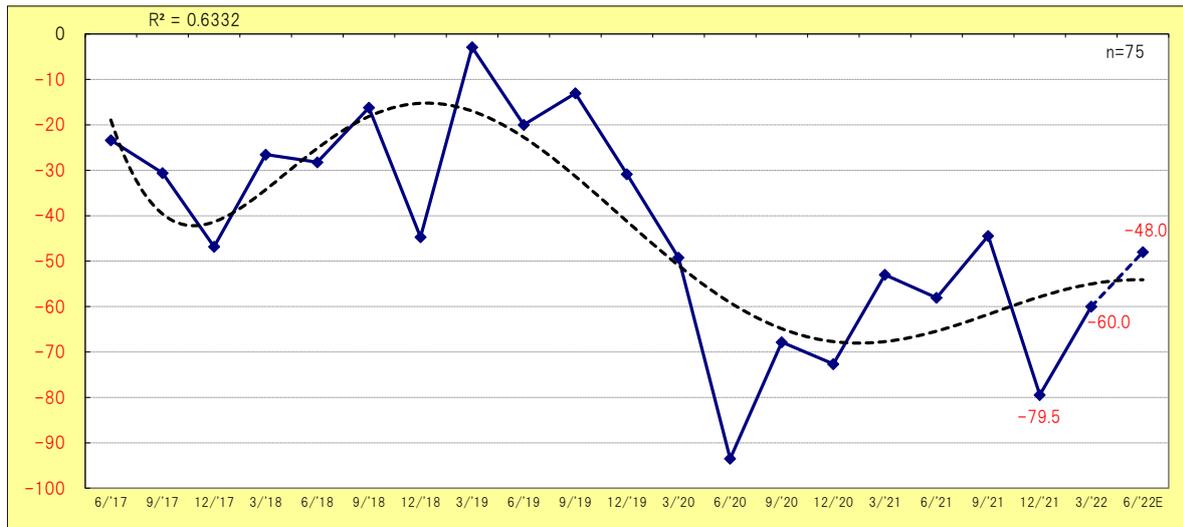
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2022年6月期(6/22E)の数値は見通し

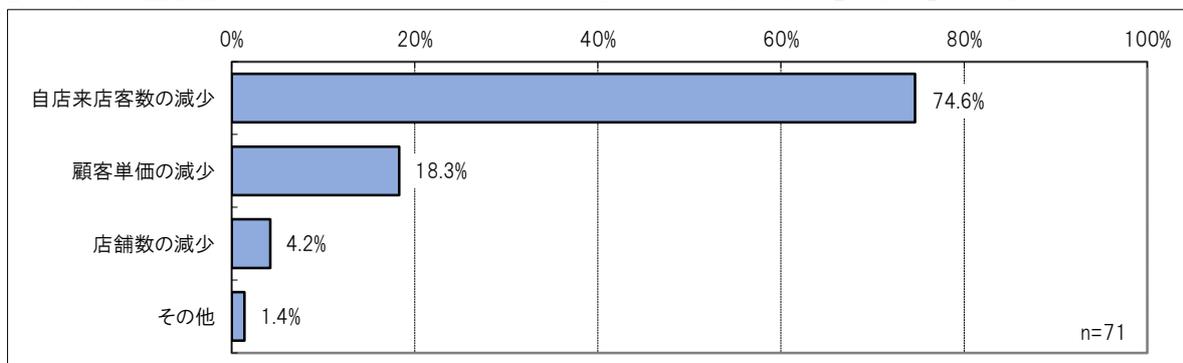
■全般的業況:業況は回復、3カ月後も回復するが厳しい見通し



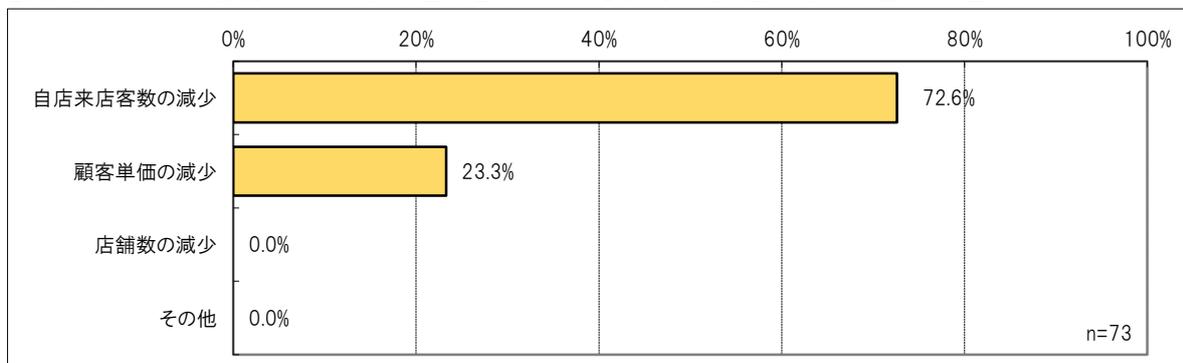
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲60.0ポイント(前回比19.5良化)へ回復した。1月末の旧基準機撤去の影響を受けて、閉店したパチンコ店も見られたことからマイナスの影響も考えられたが、例年3月期は回復する傾向にあることから、その影響のほうが強かったと推測される。3カ月後は▲48.0ポイントまで回復するが、厳しい見通しに変化はない。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況と先行きで7割以上

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



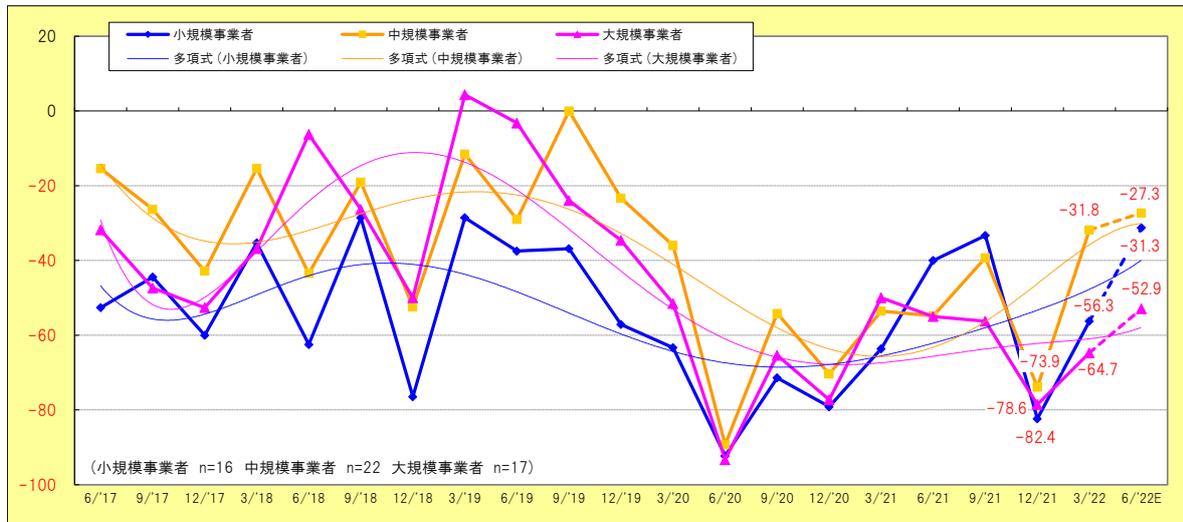
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2022年6月期(6/'22E)の数値は見通し

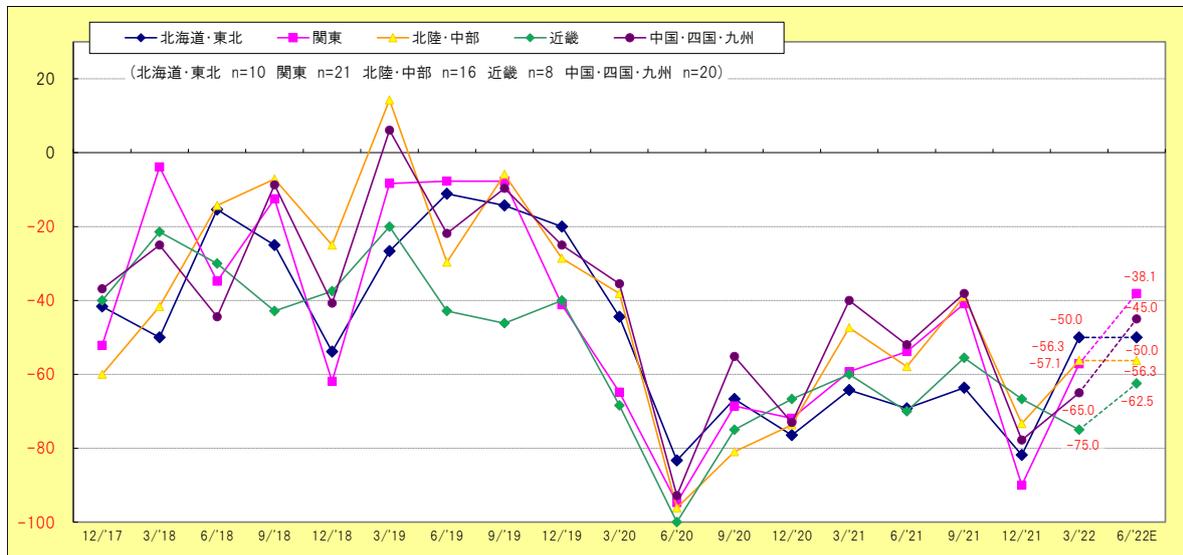
■全般的業況(規模別):全事業規模で回復、3カ月後も回復の見通し



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3 店舗)が▲56.3 ポイント(前回比 26.1 良化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲31.8 ポイント(前回比 42.1 良化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲64.7 ポイント(前回比 13.9 良化)となった。

3 カ月後はすべての事業者で回復する見通しである。

■全般的業況(地域別):近畿以外は回復、3 カ月後に悪化する見通しの地域はない



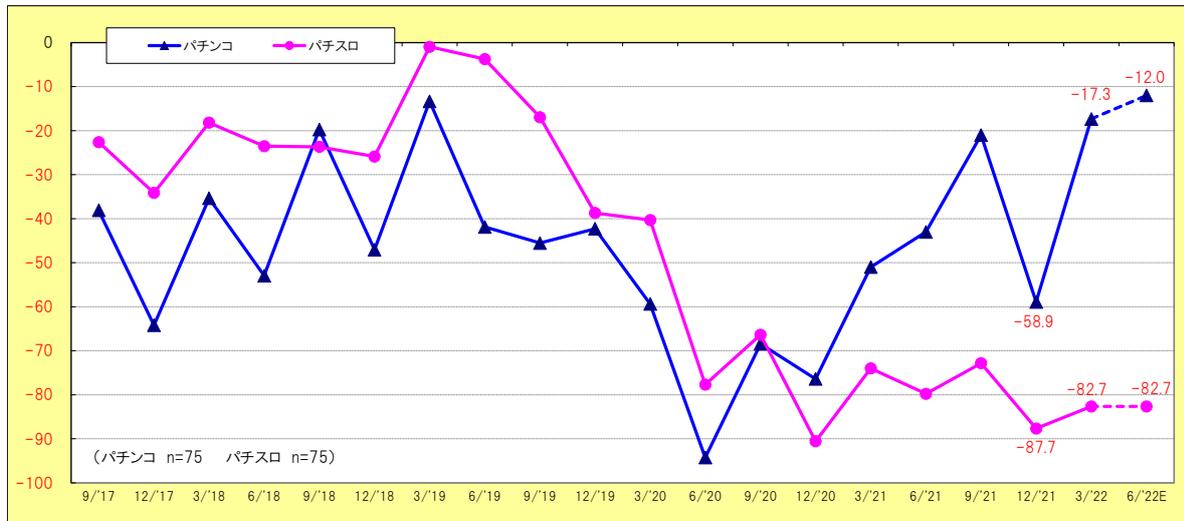
地域別での業況は近畿以外で回復した。地域順では、北海道・東北で▲50.0 ポイント(前回比 31.8 良化)、北陸・中部で▲56.3 ポイント(前回比 17.0 良化)、関東で▲57.1 ポイント(前回比 32.9 良化)、中国・四国・九州で▲65.0 ポイント(前回比 12.8 良化)、近畿で▲75.0 ポイント(前回比 8.3 悪化)となった。

3 カ月後の業況は差があるものの、悪化する見通しの地域はない。

稼動状況(事業者全体)

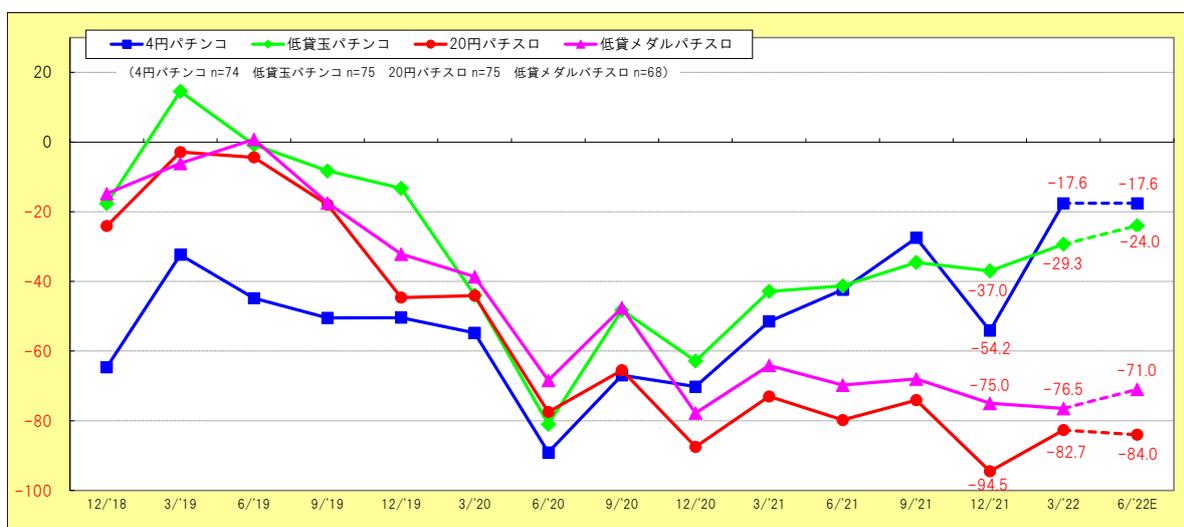
注: 2022年6月期(6/1'22E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコは大幅に回復、パチスロは低迷



稼動状況について、パチンコは▲17.3ポイント(前回比41.6良化)まで大幅に回復、パチスロは▲82.7ポイント(前回比5.0良化)となった。3カ月後はパチンコ▲12.0ポイント、パチスロ▲82.7ポイントとなり、パチンコは回復する一方、パチスロは低迷が続く見通しである。

■稼動状況(遊技料金別):料金に関係なく、パチンコは回復、パチスロは低迷



遊技料金別の稼動状況について、4円と低貸玉パチンコは回復したが、20円パチスロと低貸メダルパチスロは低迷する結果となった。

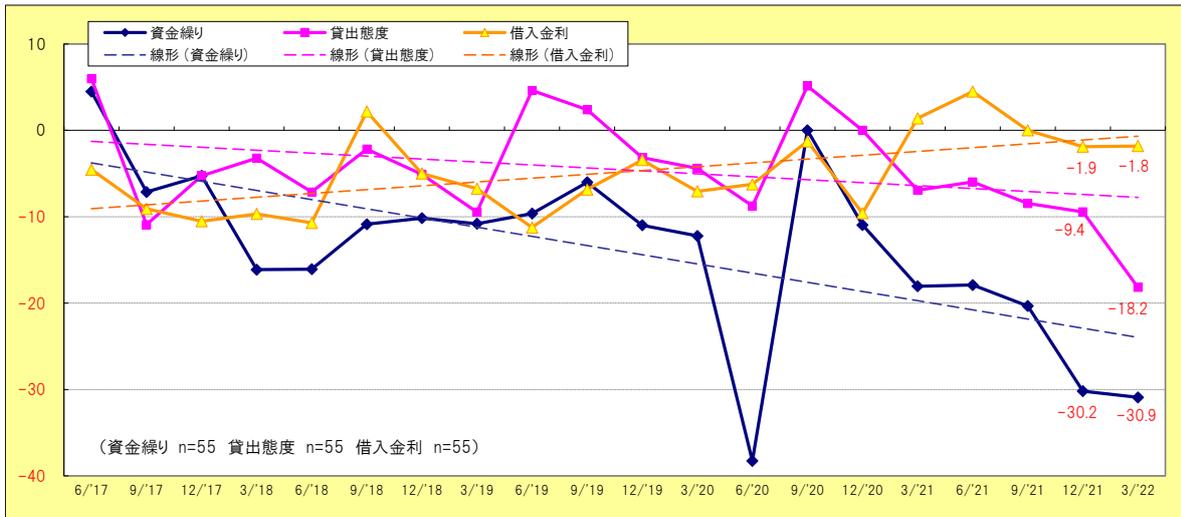
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲17.6ポイント(前回比36.6良化)まで大幅に回復、3カ月後は▲17.6ポイントと現状維持の見通しである。20円パチスロは▲82.7ポイント(前回比11.8良化)まで回復、3カ月後は▲84.0ポイントと概ね現状維持の見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲29.3ポイント(前回比7.7良化)、3カ月後は▲24.0ポイントと回復する見通しである。低貸メダルパチスロは▲76.5ポイント(前回比1.5悪化)、3カ月後は▲71.0ポイントまで回復する見通しだが、20円パチスロと同様に低水準で推移する見通しである。

経営の現状(事業者全体)

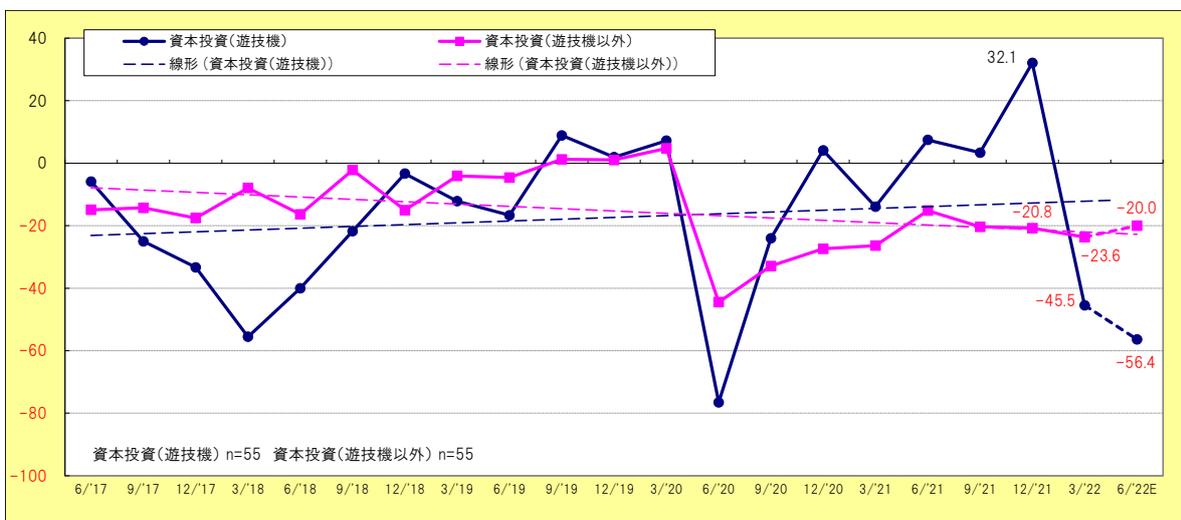
注:2022年6月期(6/'22E)の数値は見通し

■企業金融:貸出態度が悪化、資金繰りと借入金利は概ね現状維持



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲30.9ポイント(前回比0.7悪化)、「貸出態度」▲18.2ポイント(前回比8.8悪化)、「借入金利」▲1.8ポイント(前回比0.1悪化)となった。

■資本投資気運:遊技機は大幅に悪化、3カ月後はさらに悪化する見通し



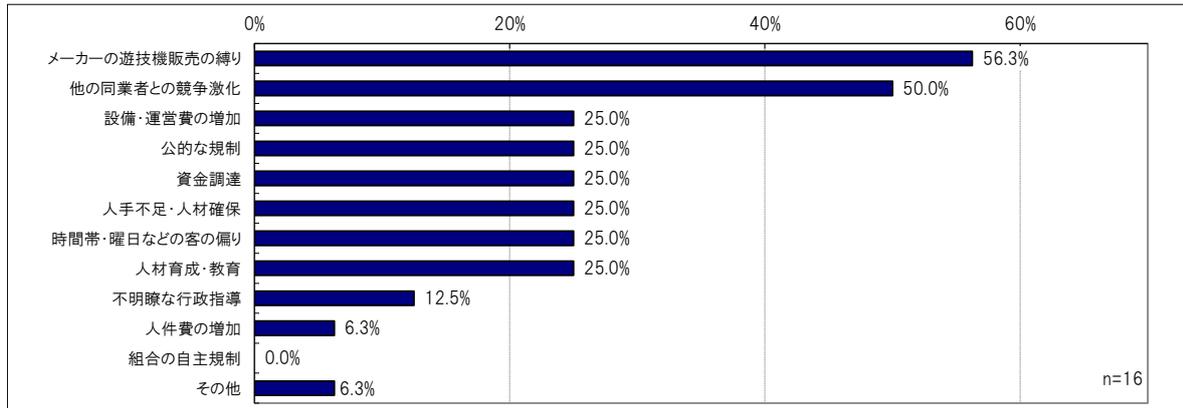
今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲45.5ポイント(前回比77.6悪化)と大幅に低下、3カ月後は56.4ポイントまでさらに落ち込む見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は▲23.6ポイント(前回比▲2.8悪化)と概ね現状維持となったが、3カ月後は▲20.0ポイントまでやや回復する見通しである。

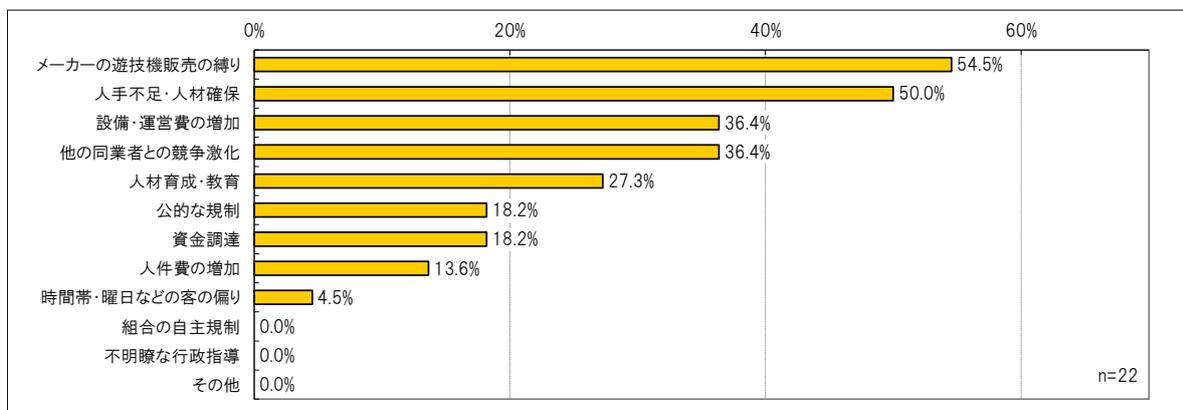
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

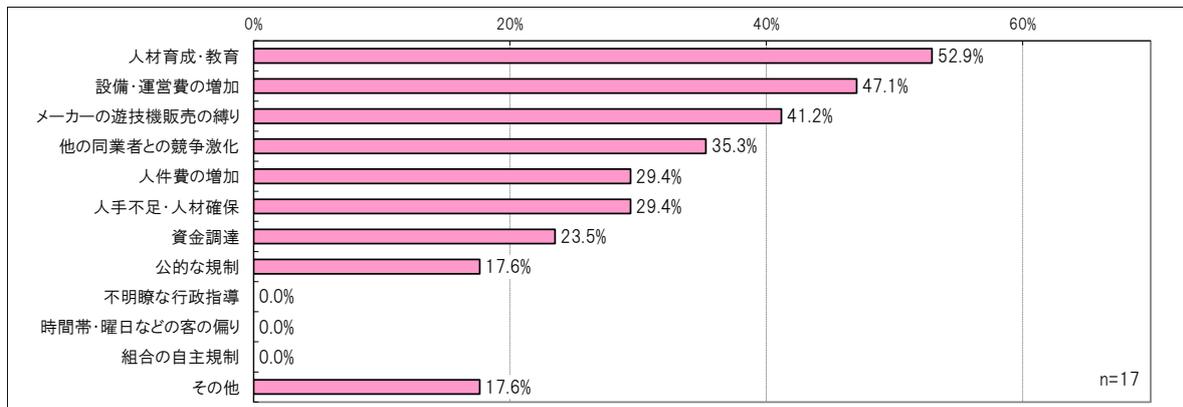
■小規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に競争激化



■中規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に人手不足・人材確保



■大規模事業者:人材育成・教育が最も高く、2番目に設備・運営費の増加



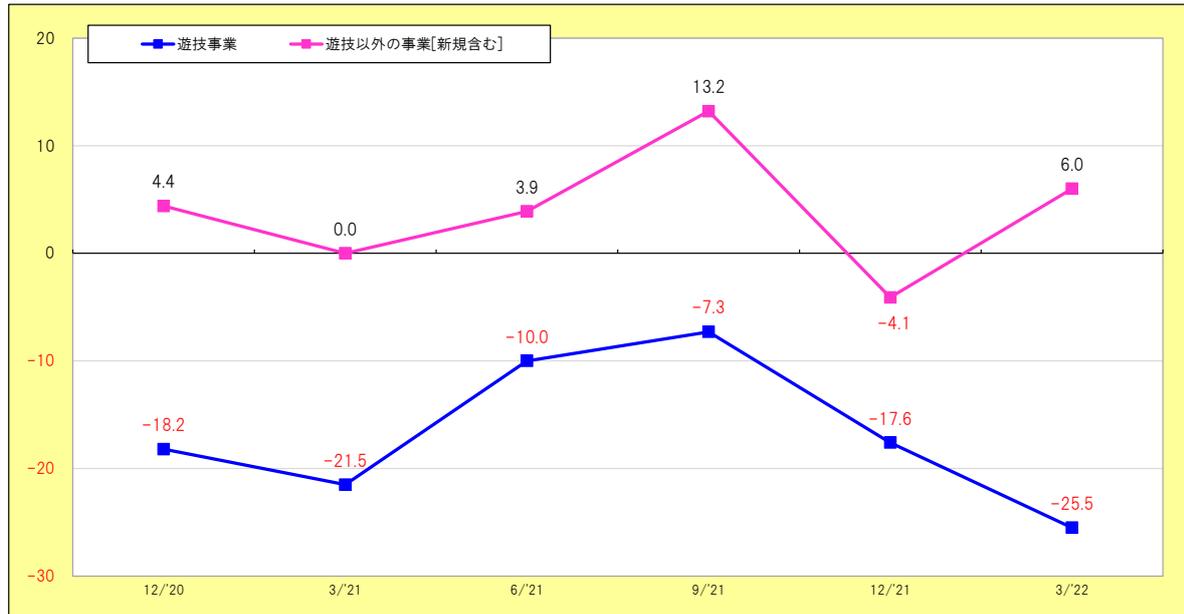
「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が56.3%で最も高い。2番目に「他の同業者との競争激化」が高かった。

中規模事業者(4~10 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が54.5%で最も高い。2番目に「人手不足・人材確保」が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「人材育成・教育」が52.9%と最も高い。2番目に「設備・運営費の増加」が高く、3番目に「メーカーの遊技機販売の縛り」が高かった。

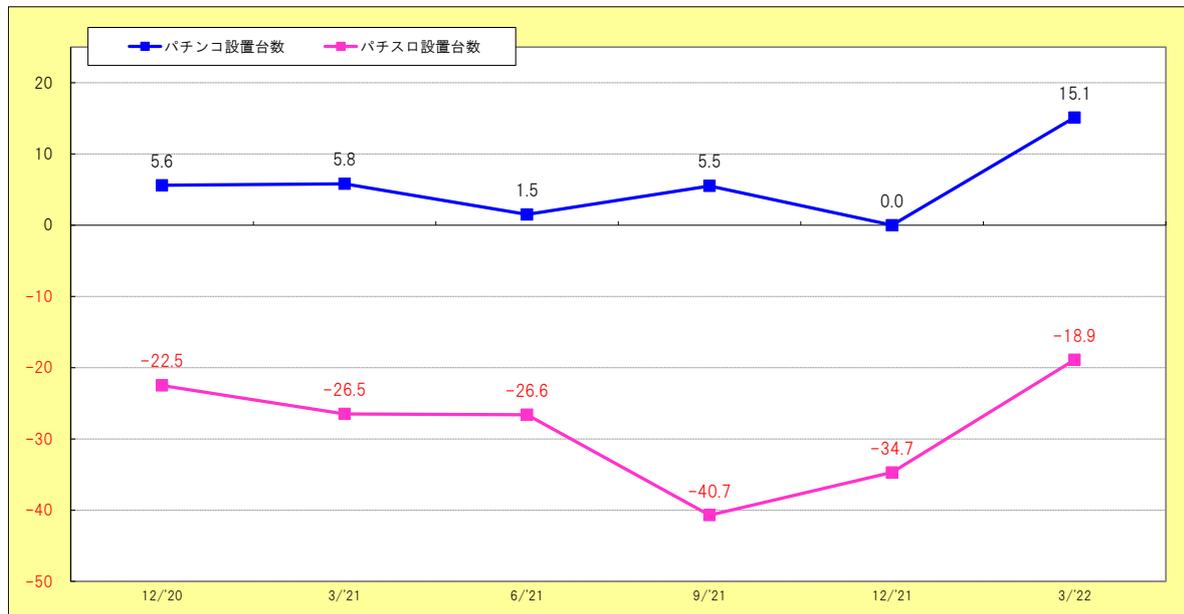
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業は悪化、遊技以外の事業は回復



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は▲25.5 ポイント(前回比 7.9 悪化)、「遊技以外の事業」は 6.0 ポイント(前回比 10.1 良化)となり、「遊技事業」はさらに縮小する見通しである。

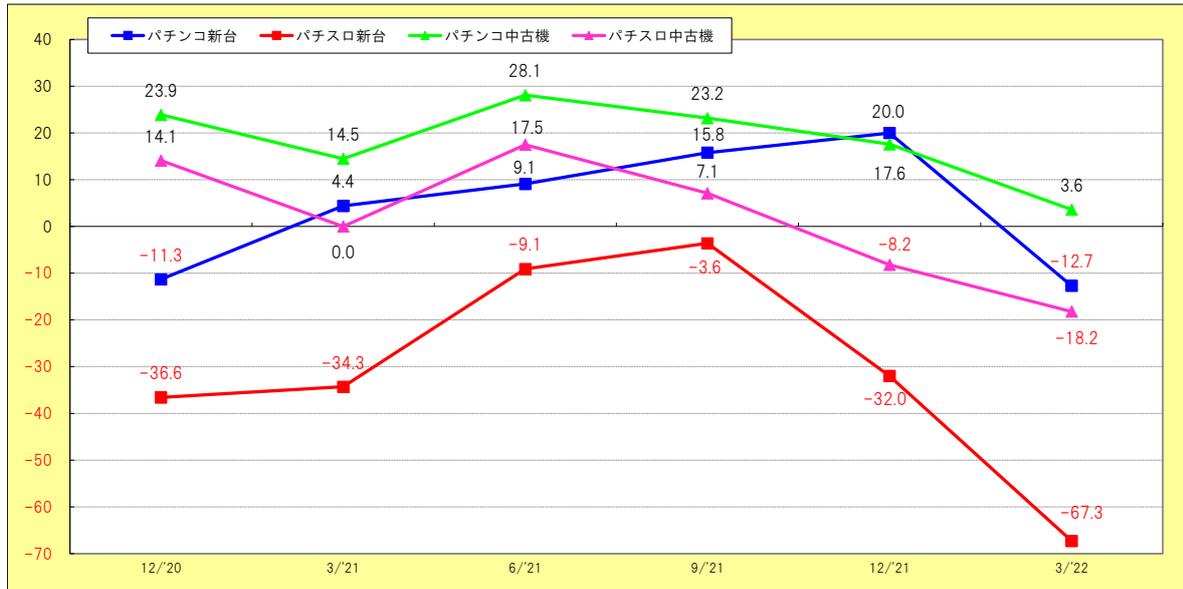
■設置台数:パチスロは回復するも、減台の意向が継続



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は 15.1 ポイント(前回比 15.1 良化)となった。一方、「パチスロ設置台数」は▲18.9 ポイント(前回比 18.8 良化)と回復したが、マイナス圏で推移している。

今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

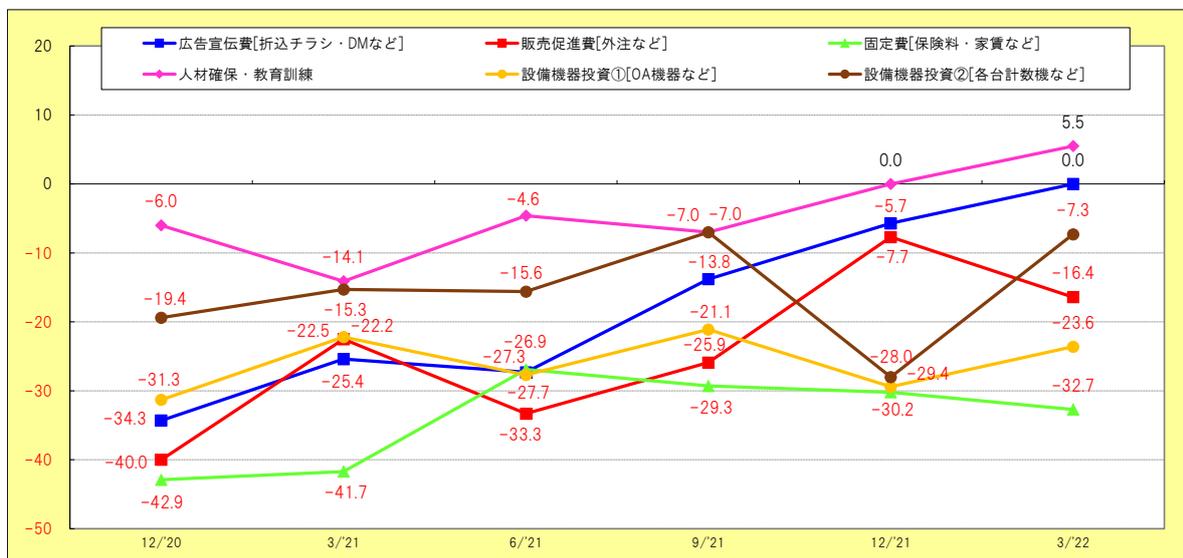
■遊技機購入費:新台・中古機ともに悪化、中でもパチスロ新台は大幅に悪化



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲12.7 ポイント(前回比 32.7 悪化)、「パチスロ新台」は▲67.3 ポイント(前回比 35.3 悪化)となった。

「パチンコ中古機」は 3.6 ポイント(前回比 14.0 悪化)、「パチスロ中古機」は▲18.2 ポイント(前回比 10.0 悪化)となった。

■販売管理費:販売促進費と固定費以外は増やす見通し



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は±0.0 ポイント(前回比 5.7 良化)、「販売促進費」は▲16.4 ポイント(前回比 8.7 悪化)、「固定費」は▲32.7 ポイント(前回比 2.5 悪化)、「人材確保・教育訓練」は 5.5 ポイント(前回比 5.5 良化)、「設備機器投資①」は▲23.6 ポイント(前回比 5.8 良化)、「設備機器投資②」は▲7.3 ポイント(前回比 20.7 良化)となった。

販売促進費と固定費は減らす見通しであるが、その他の販売管理費は増やす見通しである。

コメント(自由回答)抜粋①

■現状と今後について

- ◆新型コロナとロシアのウクライナ侵攻の影響は大きい。物価が上がり、日々の生活が厳しくなれば、パチンコどころではない。4円パチンコが好調のように思えるが、極めて一部の機種だけである。結局1円パチンコしか稼働していないのが現状である。(中部・小規模事業者)
- ◆リニューアルを計画中だが、配電盤など一部の電装系部品の納期が遅れたため、オープンが出来ない状態だ。ロシアが戦争を始める前でその状態だったので、戦争が長引けば納期の遅れが更に深刻化しそう。物価の上昇で可処分所得が減ることで、遊興費が削られ、来店客数の減少が懸念される。電気代の増加などコロナの影響が終わっても問題が山積みで頭が痛い。(中国・大規模事業者)
- ◆コロナ感染症のオミクロン株の収束が遅れているのと、ガソリン価格や物価の値上げで今後どのくらい余暇にお金を掛けられるか不透明である。(中部・小規模事業者)
- ◆今の規則機では若者のパチンコ・パチスロ離れが多く、固定客が段々減っていくので、パチンコ・パチスロの営業を現状維持することが難しくなっていくと思われる。(東北・大規模事業者)
- ◆パチスロ減台は検討できても、パチンコ増台が費用対効果を生むのか疑問である。(近畿・小規模事業者)
- ◆中小店舗ほど先行きは悪い。大手しか勝たない現状を潜り抜けるために当社がやってきているのは「不毛な不公正な機器販売のやりかた」にいたずらに巻き込まれないこと。同じ新台で勝負しても稼働の急伸につながるとは考えにくく、残債を残すぐらいなら大手中堅があまりやりたがらない超低貸玉を比較的に強化して、ニッチで高単価のお客様を誘発させる作戦をとらないと難しいと考える。(近畿・中規模事業者)
- ◆弱肉強食傾向が更に促進する中、ライトファン拡大を一体となって取り組まなければ市場の活性化はない。大手だけが生き残ってもメーカーや周辺設備会社は持たないだろう。(関東・小規模事業者)
- ◆新札発行の負担も見通せない中、事業を継続できるのか憂鬱である。(中国・小規模事業者)
- ◆新規則機になり、パチスロの稼働低下を懸念していたが、想定よりアウトを維持している。ただし、コイン単価は減少しているので、売上の組み立てや利益バランスを考える必要がある。(中国・小規模事業者)
- ◆特定サービス業統計によると、コロナ禍前の2019年度との比較で、台当たりの売上は昨春の70%前後から、昨秋には80%付近に達するなど、徐々にだが上昇基調にある。今後は3度目のワクチン接種および政府が検討してるGOTO実施などに加え、足下の閉店ラッシュによる台数減少により、第7波の有無を度外視すれば、基本的に回復基調が続かず、見るべきは台売り動向である。(関東・大規模事業者)
- ◆特にパチスロのコイン単価や客数の減少が懸念される中、いかに新台に頼らない営業で業績を上げていけるかが重要であると考えている。(東北・中規模事業者)
- ◆4円パチンコは年配者が少なくなり、若年層と入れ替わったことで、貢献機種も若年層に支持されているものに変ってきた。(関東・小規模事業者)
- ◆6.5号機登場やその後のスマートパチンコ・パチスロへの投資の考え方、最低賃金の上昇、電気代の高騰および炭素税の導入など、固定費のコントロールへの意識を高める必要がある。(九州・中規模事業者)
- ◆スマートパチンコ・スマートパチスロの見通しが不明であるため、投資配分においてどの時期に判断すべきか思索している。(近畿・大規模事業者、関東・中規模事業者)
- ◆4月に新規出店が見られるので、業界全体として盛り上がり期待している。(関東・中規模事業者)
- ◆この厳しい時期を乗り越えた先に期待する。(関東・中規模事業者)
- ◆パチスロ機の出玉規制の緩和に期待したい。(九州・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-82.4	-56.3	-31.3	-73.9	-31.8	-27.3	-78.6	-64.7	-52.9	-79.5	-60.0	-48.0
稼動状況(パチンコ)	-70.6	-12.5	-6.3	-30.4	18.2	18.2	-64.3	-23.5	-17.6	-58.9	-17.3	-12.0
稼動状況(パチスロ)	-82.4	-87.5	-87.5	-78.3	-77.3	-72.7	-100.0	-82.4	-88.2	-87.7	-82.7	-82.7
資本投資気運(遊技機)	35.3	-50.0	-62.5	21.7	-54.5	-59.1	42.9	-29.4	-47.1	32.1	-45.5	-56.4
資本投資気運(その他設備)	-17.6	-25.0	-31.3	-13.0	-22.7	-13.6	-35.7	-23.5	-17.6	-20.8	-23.6	-20.0
不足感(営業用設備)	-5.9	-25.0	-18.8	-4.3	-4.5	-13.6	-35.7	-35.3	-35.3	-12.3	-17.3	-21.3
不足感(雇用人員)	-35.3	-37.5	-37.5	-34.8	-50.0	-45.5	-42.9	-41.2	-52.9	-19.2	-33.3	-46.7

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-81.8	-50.0	-50.0	-90.0	-57.1	-38.1	-73.3	-56.3	-56.3
稼動状況(パチンコ)	-72.7	-20.0	-10.0	-70.0	-19.0	-9.5	-60.0	-6.3	0.0
稼動状況(パチスロ)	-100.0	-90.0	-80.0	-90.0	-71.4	-76.2	-93.3	-87.5	-87.5
不足感(営業用設備)	-27.3	-10.0	-20.0	-30.0	-23.8	-33.3	6.7	-12.5	-18.8
不足感(雇用人員)	-9.1	-50.0	-60.0	-30.0	-38.1	-42.9	0.0	-18.8	-37.5
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-66.7	-75.0	-62.5	-77.8	-65.0	-45.0	-79.5	-60.0	-48.0
稼動状況(パチンコ)	-66.7	-25.0	-25.0	-33.3	-20.0	-20.0	-58.9	-17.3	-12.0
稼動状況(パチスロ)	-66.7	-100.0	-100.0	-83.3	-80.0	-80.0	-87.7	-82.7	-82.7
不足感(営業用設備)	-11.1	-25.0	-25.0	0.0	-15.0	-10.0	-12.3	-17.3	-21.3
不足感(雇用人員)	-44.4	-62.5	-75.0	-16.7	-20.0	-40.0	-19.2	-33.3	-46.7

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-20.0	-58.8	-62.5	-28.6	-13.0	-22.7	-6.3	-21.4	-11.8	-20.3	-30.2	-30.9
貸出態度	-6.7	-11.8	-12.5	-17.9	-13.0	-22.7	6.3	0.0	-17.6	-8.5	-9.4	-18.2
借入金利	0.0	11.8	0.0	3.6	-8.7	0.0	-6.3	-7.1	-5.9	0.0	-1.9	-1.8

* 全般的業況 n=75、稼動状況(パチンコ)n=75、稼動状況(パチスロ)n=75、資本投資気運(遊技機)n=55、資本投資気運(その他設備)n=55、

不足感(営業用設備)n=75、不足感(雇用人員)n=75、資金繰り n=55、貸出態度 n=55、借入金利 n=55

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2022年3月10日～3月28日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

55企業、75地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

©2022 SEES RESEARCH